

石川中央都市圏における 上下水道の広域連携について

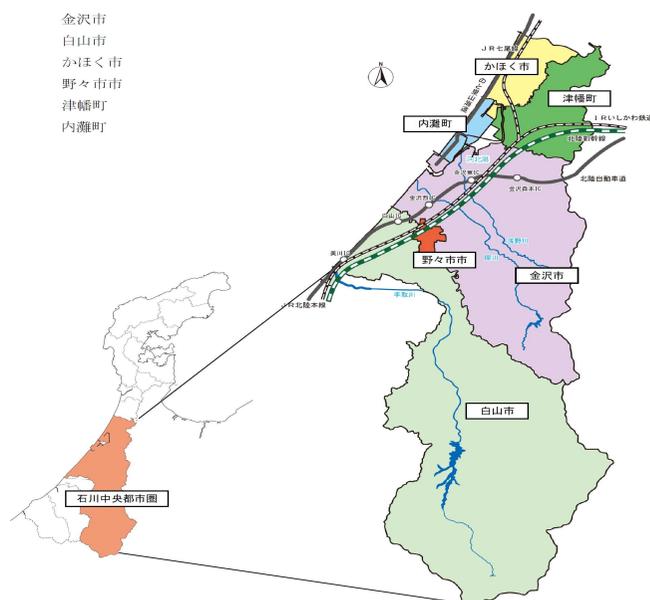
平成30年10月18日

金沢市企業局 経営企画部 経営企画課

企画係長 谷内勇人

石川中央都市圏の概要

- 金沢市を連携中枢都市として形成された連携中枢都市圏
- 金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の4市2町で構成



圏域面積 : 約1,430km²
(石川県の約34%)

圏域内人口 : 約72.8万人
(H27国勢調査)
(石川県の約63%)

これまでの経緯及び取組状況

平成28年3月 連携協約締結、「石川中央都市圏ビジョン」策定

平成28年5月 石川中央都市圏上下水道事業広域連携研究会設置
～29年2月 研究会（7回）、分科会（2回）開催

平成29年2月 「石川中央都市圏上下水道事業広域連携ビジョン」策定

平成29年5月～30年2月
研究会（4回）、分科会（3回）開催

平成30年2月 「石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画
（第1次）」策定

平成30年5月 研究会を発展解消し、石川中央都市圏上下水道事業
広域連携推進協議会設置（任意の協議会）

平成30年6月～ 実務担当者による部会（2回）開催

石川中央都市圏上下水道事業広域連携ビジョン

位置付け	石川中央都市圏ビジョンのうち、 <u>上下水道分野における個別計画</u>
計画期間	2017年度～2036年度（ <u>20年間</u> ）
広域連携の目標	住民の安心で快適な暮らしを支える上下水道サービスの進化
広域連携の基本方針	<u>業務共同化を段階的に推進していく中で、施設の共同化や官民連携の活用についても併せて検討し、広域連携の発展を目指す</u>
連携施策の展開	基本方針の具現化に向け、 <u>短期・中期・長期の期間に分けて具体的施策を推進していく</u>
連携範囲	原則、全市町が協働して取り組むが、 <u>施策によっては一部の市町で取り組む</u>

石川中央都市圏上下水道事業広域連携ビジョン

【短期目標（5年以内）】

- ◇人材育成体制の構築
 - ・若手職員上下水道ゼミナールの設置
- ◇業務共同化の一部着手
 - ・応急復旧資機材の共同備蓄
 - ・管路維持管理業務の共同化
 - ・滞納整理業務の共同化
 - ・計量器発注の共同化
 - ・施工業者認定業務（給水装置）の共同化

【中期目標（10年以内）】

- ◇業務共同化範囲の拡大
 - ・料金収納窓口の共同化
 - ・検針業務の共同化
 - ・計量器管理の共同化
 - ・施工業者認定業務（排水設備）の共同化
 - ・排水設備審査業務の共同化
- ◇システム共同化の推進
 - ・財務会計、地図情報、料金管理システムの共同化

【長期目標（20年以内）】

- ◇業務共同化範囲の更なる拡大
 - ・給水装置審査業務の共同化
 - ・修繕業務の共同化
 - ・開閉栓対応窓口の共同化
 - ・下水処理場維持管理業務包括委託の共同化
- ◇施設共同利用の推進
 - ・上水道施設の共同利用
 - ・下水道施設の共同利用

石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画（第1次）

位置付け	広域連携ビジョンにおける各種連携施策を具現化するため、 <u>施策ごとの具体的な実施方法やスケジュール等の工程表を示すもの</u>
計画期間	2018年度～2021年度（ <u>4年間</u> ）
推進体制	石川中央都市圏上下水道事業広域連携推進協会を中心として取り組む
施策項目	広域連携ビジョンにおいて短期に実施を目指す施策のほか、中・長期に実施を目指す施策のうち前倒しが可能なもの（9項目）

石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画（第1次）

実施済みの連携施策

◇合同災害訓練の実施

→職員のほか、地域住民も参加（H28：金沢市、H29：内灘町）

地域の防災訓練と同時に実施

◇広域職員研修の開催

→県内市町職員相互の技術技能の向上のため、新任職員向けの技術研修や簿記研修を実施

CAD操作、下水道推進工事など

◇「石川みらいの水連携塾」の設置（H29年4月）

→若手職員による技術・技能ゼミナールの開催

石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画（第1次）

実施に向けて取り組む連携施策

◇応急復旧資機材の共同備蓄

連携市町	全市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 下水道BCPを共同で改訂 → 事故対応時に必要な資機材について情報を共有・ 資機材の迅速な相互融通

◇下水道管路維持管理業務の共同化

連携市町	一部市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 下水道管渠カメラ調査業務の共同発注・ 調査結果の管理手法を共通化し、維持管理レベルを強化

石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画（第1次）

実施に向けて取り組む連携施策

◇水道メーターの共同発注

連携市町	全市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・発注事務を金沢市へ一元化・新規購入より修理優先を基本方針とし、可能な市町から対応

◇給水装置及び排水設備工事業者指定業務の共同化

連携市町	全市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・金沢市に総合窓口を設置・申請書や添付書類を統一し、複数市町への申請を一括して受付

石川中央都市圏上下水道事業広域連携基本計画（第1次）

実施に向けて取り組む連携施策

◇情報基盤システムの統合

連携市町	全市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・ サーバ仮想化技術を利用し、各種システムの運用サーバを統合・ 将来的なシステム統合に向けた環境整備

◇連携手法の発展に向けた研究

連携市町	全市町
施策の概要	<ul style="list-style-type: none">・ ビジョンにおいて長期目標とした施設の共同化等について、継続的に調査研究・ モデル都市を事例に、共同化に係る効果や費用を試算

具体的な検討事項等

水道メーター の共同発注	<ul style="list-style-type: none">・各市町の仕様等の詳細調査・メーカーとのヒアリング・共同発注スキーム（案）の提示・契約担当部局への確認
工事業者指定 業務の共同化	<ul style="list-style-type: none">・各市町の様式等の調査・業務量の推計 （水道法改正に伴う更新制導入の影響について）・統一様式の検討
情報基盤システム の統合	<ul style="list-style-type: none">・各市町が保有するシステム及び機器の詳細調査・統合（案）の提示
連携手法の発展 に向けた研究	<ul style="list-style-type: none">・本市とモデル市町の業務量に関する調査の実施・隣接市町からの汚水受入に係る可能性調査



ご静聴、ありがとうございました。